



徳島大学病院 循環器内科

八木秀介特任准教授



難病・心アミロイドーシス新しい治療

心アミロイドーシスとは、アミロプと、肝臓から異常トランスサイレミロイド沈着を防ぐ薬剤です。これ
イドという蛋白質線維が心臓に沈着、アミロイドという蛋白が産生されて、アミ
し、心臓肥大をきたす病気です。進ロイドに変化し、心臓に沈着するト
行すると心臓の働きが低下し、息切ランスサイレチン型心アミロイドー
れやむくみなどが出現する心不全とシスと呼ばれるタイプがあります。
いう状態となり、命を縮めます。こ前者に対しては、抗体蛋白の産生を
の病気は主に二つのタイプに分けら抑える化学療法が従来行われており
れます。血液細胞の異常により免疫ますが、後者に対しての根本的治療
をつかさどる抗体蛋白の一部がアミは皆無でした。
ロイドとなり、心臓に沈着するタイ現在、タファミジスという薬剤が

開発され、トランスサイレチン型心アミロイドーシスに対して、徳島県
では唯一徳島大学病院にて治療でき
るようになりました。タファミジス
は、不安定な異常トランスサイレチ
ン蛋白を安定化させ、アミロイドに変
化するのを抑制し、心臓におけるア

の心臓肥大や手根管症候群、腰部脊
柱管狭窄症を合併している心不全
患者さん、入院を繰り返す心不全患
者さんの中に、心アミロイドーシス
が隠れていることがあります。心ア
ミロイドーシスと診断されてもさま
ざまな条件があり、全ての患者さん
にこの新しい治療を行えるわけでは
ございませんが、患者さんにとって、
新しい治療の選択肢になると思われ
ます。早期の診断・治療により、病
状の進行を抑えることが見込めるた
め、ご担当の先生と相談して専門病
院を受診することをお勧めいたしま
す。